

平成二十四年  
いのち

五月  
生命の言葉

# 和魂漢才

菅原道真

裏面もご覧ください。

五月  
生命の言葉

日本人としての魂を忘れずに、祖国を愛する心を持ったうえで、世界人として国外に広い知識を求めて勉強せよという教え。

『菅家遺誠』

菅原道真（すがわらみちざね）

八四五〜九〇三年。平安時代の官吏。詩歌文章に優れ右大臣にまで昇進したが、左大臣・藤原時平の讒言にあつて大宰権師に左遷され、延喜三年（九〇三）、大宰府にて崩じた。没後、京の都ではさまざまに変地異が起き、これらは道真の崇りと信じられ恐れられた。太宰府天満宮、北野天満宮などに祀られ、現在では学問の神として知られる。

燕が飛び交うこの季節 皆さまに神のご加護がありますように

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



遷宮で結ぶ人の輪 心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮